

第59回県下高等学校柔道選手権大会（鹿綜警杯）
（第41回全国高等学校柔道選手権大会鹿児島県予選）
実 施 要 項

- 1 主 催 鹿児島総合警備保障株式会社
公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後 援 鹿児島県高等学校体育連盟
- 3 期 日 平成31年1月19日（土）、20日（日）
 - ※ 開館 8時30分
 - ※ 審判会議・監督会議 9時30分
 - ※ 開会式 10時00分
 - ※ 個人試合開始 10時30分
 - ※ 個人戦（男女）・女子団体計量は、18日（金）16：30より実施する。
但し、18日（金）にできないものは1日目9時から可とする。
 - ※ 2日目の団体戦は10時30分より開始する。
- 4 会 場 鹿児島アリーナ（サブアリーナ）
- 5 参加資格
 - (1) 鹿児島県内の高等学校生徒で、平成12年4月2日以降に生まれた者（平成30年4月2日現在で、18歳未満であり第1・2学年に在籍）。同一学年での出場は1回限りとする。
 - (2) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は主催者の認可があればこの限りでない。
 - (3) 高等学校体育連盟及び全日本柔道連盟に登録した選手であること。監督は、全日本柔道連盟に登録をした者であること。
 - (4) 団体戦は、男子各校1チーム、監督1名、選手7名とする。
女子各校1チーム、監督1名、選手3名、補欠2名とする。
 - (5) 個人戦男子は、定める体重5階級、各校3名以内とする。但し、無差別は4名以内とする。
個人戦女子は、定める体重5階級、各校3名以内とする。但し、無差別は4名以内とする。
 - (6) 選手変更について
 - ア 団体戦・個人戦ともに、申込み後の選手に負傷又は発病があった場合は、次の手続きを経て監督会議までに提出する。
 - ① 事故のあった選手の診断書
 - ② 変更選手の校長認可証・健康診断書
 - イ その他の事項については、全国大会要項に準ずる。
- 6 表 彰 団体・個人の第1位から第3位、及び5人抜き・10人抜きの選手を表彰する。
但し、5人・10人を抜いた場合とする。
- 7 参 加 料 団体戦＝1チーム 男子 3,500円 女子 2,500円
個人戦＝個人戦のみ出場する選手 500円
※ 大会当日、受付に納入すること。
- 8 競技規則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定（新规定2018）で行う。
 - (2) 全国高等学校体育連盟柔道部申し合わせ事項
 - ① 団体試合
 - ア 試合時間は3分間とする。（但し、決勝戦は4分）
 - イ「優勢勝ち」の判定基準は「技有」又は、「僅差」「僅差」（「指導」差2）以上とする。
 - ウ チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「9 試合方法」で定める。
 - ② 個人試合
 - ア 試合時間は3分間とする。（但し、決勝戦は4分）
 - イ「優勢勝ち」の判定基準は「技有」または「僅差」（「指導」差2）以上とする。
 - ウ 試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「技有り」以上の得点があった時点、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
 - ※「指導」の累積により両者「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。
- 9 試合方法
 - (1) 団体戦（男子の部）
 - ① トーナメント法で行う。
 - ② 各チーム間の試合は、勝ち抜き試合とする。
 - ③ 試合は、各チーム5人で行い、試合ごとのオーダーの変更を認める。
 - ④ 大将同士が引き分けの場合、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の「優勢勝

ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」（「指導」差2）以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

※ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(2) 団体戦（女子の部）

① トーナメント法で行う。

② 試合は、体重別点取り（先鋒：52kg以下・中堅：63kg以下・大将：無差別）試合とする。補欠は、該当する階級に出場できる。試合ごとのオーダー変更は行わない。

③ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。代表戦は、「技あり」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

※ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(3) 個人戦

① 男子は、体重別（60kg級・66kg級・73kg級・81kg級・無差別）の5階級によるトーナメント法で行う。

② 女子は、体重別（48kg級・52kg級・57kg級・63kg級・無差別）の5階級によるトーナメント法で行う。

☆団体・先鋒（52kg以下に登録した場合）

個人は、52kg級・無差別のいずれかに登録できる。

☆団体・中堅（63kg以下に登録した場合）

個人は、52kg級・57kg級・63kg級・無差別のいずれかに登録できる。

10 参加申込 平成30年12月12日（水）必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。封筒に、「大会申込書在中」と朱記すること。

なお、組合せ表の送付を希望する場合は、あて名記入、切手つきの封筒を同封すること。

11 組合せ 主催者において、決定する。

12 その他

(1) 脳震盪対応について

ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。

イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(2) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。

(3) 男女とも団体戦優勝校と個人戦各階級優勝者が「第41回全国高等学校柔道選手権大会」に鹿児島県代表として出場する。

(4) 男子団体は、3人以上、女子団体は、2人以上でも出場を認める。但し、代表校になることはできない。

※ 配列は、大将からつめる。

(5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。

(6) 当日は、駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。

(7) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。

(8) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。